【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成24年8月23日(2012.8.23)

【公表番号】特表2011-527615(P2011-527615A)
【公表日】平成23年11月4日(2011.11.4)
【年通号数】公開・登録公報2011-044
【出願番号】特願2011-517603(P2011-517603)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｍ　1/28　(2006.01)
Ａ６１Ｍ　1/14　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｍ　1/28
Ａ６１Ｍ　1/14　５５０
Ａ６１Ｍ　1/14　５５１

【手続補正書】
【提出日】平成24年7月5日(2012.7.5)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
腹膜透析システム（１０）であって、
患者流体の限外濾過および透析のうちの少なくとも１つを行うように構成されている機器（１０４、１０４ａ、１０４ｂ）と、
論理インプリメンタ（９４、１０４、１１２、１１４、１１８）と
を含み、
前記論理インプリメンタ（９４、１０４、１１２、１１４、１１８）は、
（ｉ）少なくとも１つの治療標的入力を受け入れることと、
（ｉｉ）少なくとも１つの患者輸送特性入力を受け入れることと、
（ｉｉｉ）少なくとも１つの溶液入力を受け入れることと、
（ｉｖ）少なくとも１つの流体容量入力を受け入れることと、
（ｖ）少なくとも１つの治療時間入力を受け入れることであって、（ｉｉｉ）、（ｉｖ）および（ｖ）の少なくとも１つの入力のうちの少なくとも１つが複数の値を含む、ことと、
（ｖｉ）前記複数の値を含む（ｉｉ）、（ｉｉｉ）、（ｉｖ）および（ｖ）の入力を用いて、前記機器に対する複数の治療投薬計画を生成することであって、前記複数の治療投薬計画が（ｉ）の前記少なくとも１つの治療標的入力を満たす、ことと
を行うように構成されている、腹膜透析システム（１０）。
【請求項２】
前記機器（１０４、１０４ａ、１０４ｂ）は、前記治療投薬計画のうちの選択された１つにしたがって腹膜透析治療を実行するように動作可能な自動腹膜透析（「ＡＰＤ」）機械（１０４）を含む、請求項１に記載の腹膜透析システム（１０）。
【請求項３】
前記論理インプリメンタ（９４、１０４、１１２、１１４、１１８）は、前記機器（１０４、１０４ａ、１０４ｂ）から離れた位置に配置される、請求項１または２に記載の腹膜透析システム（１０）。

【請求項４】
前記複数の値が入力範囲／閾値を含む、請求項１～３のいずれか一項に記載の腹膜透析システム（１０）。
【請求項５】
前記論理インプリメンタ（９４、１０４、１１２、１１４、１１８）は、前記入力範囲／閾値の値のそれぞれを用いて、（ｉ）の前記少なくとも１つの治療標的入力を満たすそれぞれの可能性のある治療投薬計画を生成するように構成されている、請求項４に記載の腹膜透析システム（１０）。
【請求項６】
標的治療入力範囲／閾値を含み、
前記標的治療入力範囲／閾値は、
（ａ）最小尿素クリアランスと、
（ｂ）最小尿素Ｋｔ／Ｖと、
（ｃ）最小クレアチニンクリアランスと、
（ｄ）最大グルコース吸収と、
（ｆ）最小限外濾過除去量と
のうちの少なくとも１つを含む、請求項１～５のいずれか一項に記載の腹膜透析システム（１０）。
【請求項７】
流体容量範囲／閾値を含み、前記流体容量範囲／閾値は、総容量最小値と、総容量最大値と、個別の充填容量最小値と、個別の充填容量最大値とのうちの少なくとも１つを含む、請求項１～６のいずれか一項に記載の腹膜透析システム（１０）。
【請求項８】
少なくとも１つの治療時間範囲／閾値を含み、前記治療時間範囲／閾値が最小治療時間と、最大治療時間とのうちの少なくとも１つを含む、請求項１～７のいずれか一項に記載の腹膜透析システム（１０）。
【請求項９】
前記患者輸送特性は、
（ａ）尿素に対する物質移動面積係数（「ＭＴＡＣ」）と、
（ｂ）クレアチニンに対するＭＴＡＣと、
（ｃ）グルコースに対するＭＴＡＣと、
（ｄ）患者の透水特性と、
（ｅ）流体吸収特性と
のうちの少なくとも１つを含む、請求項１～８のいずれか一項に記載の腹膜透析システム（１０）。
【請求項１０】
（ｉｉｉ）の前記少なくとも１つの溶液入力が複数の異なる溶液タイプからの選択を含む、請求項１～９のいずれか一項に記載の腹膜透析システム（１０）。
【請求項１１】
入力（ｉｉ）～（ｖ）の少なくとも１つの入力の前記複数の値が入力範囲を含み、
前記複数の治療投薬計画は、前記少なくとも１つの入力範囲内にある前記複数の値のそれぞれを用いて、（ｉ）の前記少なくとも１つの治療標的入力を満たすそれぞれの可能性のある治療投薬計画を含む、請求項１～３のいずれか一項に記載の腹膜透析システム（１０）。
【請求項１２】
（ｉｉｉ）の前記少なくとも１つの溶液入力に対する溶液デキストロース範囲と、
（ｉｖ）の前記少なくとも１つの流体容量入力に対する最小および最大の個別の充填容量範囲と、
（ｖ）の前記少なくとも１つの治療時間入力に対する最小および最大の治療時間範囲と
を含む、請求項１１に記載の腹膜透析システム（１０）。

【請求項１３】
前記複数の値は、
（ｉｉｉ）の溶液入力の範囲と、
（ｉｖ）の流体容量充填入力の範囲と、
（ｖ）の充填時間入力の範囲と
を含み、
前記複数の治療投薬計画は、（ｉｉｉ）の溶液入力の範囲、（ｉｖ）の流体容量充填入力の範囲および（ｖ）の充填時間入力の範囲の内側にある値のそれぞれを用いて、（ｉ）の前記少なくとも１つの治療標的入力を満たすそれぞれの可能性のある治療投薬計画を含む、請求項１～３のいずれか一項に記載の腹膜透析システム（１０）。
【請求項１４】
（ｉ）の前記治療標的入力が治療標的閾値である、請求項１１～１３のいずれか一項に記載の腹膜透析システム（１０）。
【請求項１５】
前記論理インプリメンタ（９４、１０４、１１２、１１４、１１８）は、前記入力範囲のうちの少なくとも１つからの値のうちの少なくとも１つを自動入力するように構成されている、請求項１～１４のいずれか一項に記載の腹膜透析システム（１０）。
【請求項１６】
前記論理インプリメンタ（９４、１０４、１１２、１１４、１１８）は、患者の選択した可能性によって、前記少なくとも１つの自動入力された可能性をオーバーライドするようにさらに構成されている、請求項１５に記載の腹膜透析システム（１０）。
【請求項１７】
透析システム（１０）であって、
患者流体の限外濾過および透析のうちの少なくとも１つを行うように構成されている機器（１０４、１０４ａ、１０４ｂ）と、
論理インプリメンタ（９４、１０４、１１２、１１４、１１８）と
を含み、
前記論理インプリメンタ（９４、１０４、１１２、１１４、１１８）は、
（ｉ）少なくとも１つの治療標的入力を受け入れることと、
（ｉｉ）少なくとも１つの患者輸送特性入力を受け入れることと、
（ｉｉｉ）少なくとも１つの溶液入力を受け入れることと、
（ｉｖ）少なくとも１つの流体容量入力を受け入れることと、
（ｖ）少なくとも１つの治療時間入力を受け入れることであって、（ｉｉｉ）、（ｉｖ）および（ｖ）の少なくとも１つの入力のうちの少なくとも１つが複数の値を含む、ことと、
（ｖｉ）前記複数の値を含む（ｉｉ）、（ｉｉｉ）、（ｉｖ）および（ｖ）の入力を用いて、前記機器に対する複数の治療投薬計画を生成することであって、前記複数の治療投薬計画が（ｉ）の前記少なくとも１つの治療標的入力を満たす、ことと
を行うように構成されている、透析システム（１０）。
【請求項１８】
前記機器（１０４、１０４ａ、１０４ｂ）は、前記治療投薬計画のうちの選択された１つにしたがって腹膜透析治療を実行するように動作可能な自動腹膜透析（「ＡＰＤ」）機械（１０４）を含む、請求項１７に記載の透析システム（１０）。
【請求項１９】
前記論理インプリメンタ（９４、１０４、１１２、１１４、１１８）は、前記機器（１０４、１０４ａ、１０４ｂ）から離れた位置に配置される、請求項１７または１８に記載の透析システム（１０）。
【請求項２０】
前記複数の値が入力範囲／閾値を含み、前記論理インプリメンタ（９４、１０４、１１２、１１４、１１８）は、前記入力範囲／閾値の値のそれぞれを用いて、（ｉ）の前記少

なくとも１つの治療標的入力を満たすそれぞれの可能性のある治療投薬計画を生成するように構成されている、請求項１７～１９のいずれか一項に記載の透析システム（１０）。
【請求項２１】
標的治療入力範囲／閾値を含み、
前記標的治療入力範囲／閾値は、
（ａ）最小尿素クリアランスと、
（ｂ）最小尿素Ｋｔ／Ｖと、
（ｃ）最小クレアチニンクリアランスと、
（ｄ）最大グルコース吸収と、
（ｆ）最小限外濾過除去量と
のうちの少なくとも１つを含む、請求項１７～２０のいずれか一項に記載の透析システム（１０）。
【請求項２２】
流体容量範囲／閾値を含み、前記流体容量範囲／閾値は、総容量最小値と、総容量最大値と、個別の充填容量最小値と、個別の充填容量最大値とのうちの少なくとも１つを含む、請求項１７～２１のいずれか一項に記載の透析システム（１０）。
【請求項２３】
少なくとも１つの治療時間範囲／閾値を含み、前記治療時間範囲／閾値は、最小治療時間と、最大治療時間とのうちの少なくとも１つを含む、請求項１７～２２のいずれか一項に記載の透析システム（１０）。
【請求項２４】
（ｉｉｉ）の前記少なくとも１つの溶液入力が複数の異なる溶液タイプからの選択を含む、請求項１７～２３のいずれか一項に記載の透析システム（１０）。
【請求項２５】
入力（ｉｉ）～（ｖ）の少なくとも１つの入力の前記複数の値が入力範囲を含み、
前記複数の治療投薬計画は、前記少なくとも１つの入力範囲内にある前記複数の値のそれぞれを用いて、（ｉ）の前記少なくとも１つの治療標的入力を満たすそれぞれの可能性のある治療投薬計画を含む、請求項１７～１９のいずれか一項に記載の透析システム（１０）。
【請求項２６】
（ｉｉｉ）の前記少なくとも１つの溶液入力に対する溶液デキストロース範囲と、
（ｉｖ）の前記少なくとも１つの流体容量入力に対する最小および最大の個別の充填容量範囲と、
（ｖ）の前記少なくとも１つの治療時間入力に対する最小および最大の治療時間範囲とを含む、請求項２５に記載の透析システム（１０）。
【請求項２７】
前記複数の値は、
（ｉｉｉ）の溶液入力の範囲と、
（ｉｖ）の流体容量充填入力の範囲と、
（ｖ）の充填時間入力の範囲と
を含み、
前記複数の治療投薬計画は、（ｉｉｉ）の溶液入力の範囲、（ｉｖ）の流体容量充填入力の範囲および（ｖ）の充填時間入力の範囲の内側にある値のそれぞれを用いて、（ｉ）の前記少なくとも１つの治療標的入力を満たすそれぞれの可能性のある治療投薬計画を含む、請求項１７～１９のいずれか一項に記載の透析システム（１０）。
【請求項２８】
（ｉ）の前記治療標的入力が治療標的閾値である、請求項２５～２７のいずれか一項に記載の透析システム（１０）。
【請求項２９】
前記論理インプリメンタ（９４、１０４、１１２、１１４、１１８）は、前記入力範囲

のうちの少なくとも１つからの値の少なくとも１つを自動入力するように構成されている、請求項１７～２８のいずれか一項に記載の透析システム（１０）。

【請求項３０】

前記論理インプリメンタ（９４、１０４、１１２、１１４、１１８）は、患者の選択した可能性によって、前記少なくとも１つの自動入力された可能性をオーバーライドするようにさらに構成されている、請求項２９に記載の透析システム（１０）。